

## No.22 狸の足洗

江戸本所深川の七不思議のひとつに「狸屋敷」があった。人がこの屋敷に入っていくと、天井から足がぐぐーっと伸びてきて、

「足を洗ええ～！」、「この足を洗ええ～！」

と天井裏から野太い声が聞こえてくる。言わずと知れた大狸の仕業である。これを怖がって、近所の子供や娘達が、

「キャー！」

と尻をからげて逃げていくと、狸公が得意になって大声で笑う声が聞こえてくる。

勇気のある男達が言われたとおりに足を洗ってやると足はスーッと引っ込められる。

いつときは、大変評判になったが、あんまり面白くもないので何時しか人々から忘れられてしまった。

すると、当の狸もばかばかしくなって、最後に自分できれいに「足を洗って」止めてしまったそうだ。